

科目名		画像生理情報解析学講義			分野・必選別・ 単位数	専門科目 (臨床検査医学)	選択	2単位
担当教員		◎准教授 増山里枝子 講師 崎原ことえ					科目ナンバー	T4C107
課程	博士前期	配当年次	1年		配当学期	後期	授業方法	講義
授業の概要		臨床検査の中で急速の進歩を遂げつつある画像生理情報解析の理解を深めるため、最新の機器の機能に精通するとともに、さまざまな病態に適切な生理画像検査方法を提案することができ、画像情報から適切な情報を抽出し、読み取り、統計処理を行うことができるようにするのが目的である。						
授業の到達目標		①最新の機器の作動原理を説明できる。 ②さまざま症例に適切な生理画像検査方法を説明できる。 ③画像情報から適切な情報を抽出し、読み取る方法が説明できる。 ④症例の各種検査データを分析して疾患を説明できる。						
授業計画	回数	担当者			行動目標			
	1	崎原ことえ	講 師		中枢神経の解剖を説明できる。 KW: 脊髄, 大脳			
	2	崎原ことえ	講 師		中枢神経の検査法を説明できる。(1) KW: 大脳皮質, 脳波, 脳磁図, 光トポグラフィー			
	3	崎原ことえ	講 師		中枢神経の検査法を説明できる。(2) KW: 事象関連電位, P300, オドボール			
	4	崎原ことえ	講 師		中枢神経の検査法を説明できる。(3) KW: 錐体路, 経頭蓋磁気刺激法			
	5	崎原ことえ	講 師		中枢神経の検査法を説明できる。(4) KW: 錐体外路, 小脳, 経頭蓋磁気刺激			
	6	崎原ことえ	講 師		神経心理の検査法を説明できる。(1) KW: 知的発達, IQ			
	7	崎原ことえ	講 師		神経心理の検査法を説明できる。(2) KW: 視知覚, 視運動知覚			
	8	崎原ことえ	講 師		神経心理の検査法を説明できる。(3) KW: 運動発達, 協調運動			
	9	増山里枝子	准教授		血管超音波の検査法を説明できる。(1) KW: 頸動脈			
	10	増山里枝子	准教授		血管超音波の検査法を説明できる。(2) KW: 下肢動脈			
	11	増山里枝子	准教授		血管超音波の検査法を説明できる。(3) KW: 下肢静脈			
	12	増山里枝子	准教授		血管超音波の検査法を説明できる。(4) KW: 上肢血管			
	13	増山里枝子	准教授		血管超音波の検査法を説明できる。(5) KW: 腹部大動脈			
	14	増山里枝子	准教授		血管超音波の検査法を説明できる。(6) KW: 腹部血管			
	15	増山里枝子	准教授		血管超音波の検査法を説明できる。(7) KW: 腎動脈			
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	指定したテキストの次回授業部分を事前に読んでおくこと。 回回の授業内容を予習し、用語の意味等を理解しておくこと。						
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、関連する文献等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。						
	【必要時間】	当該期間に30時間以上の予復習が必要。						
教科書		随時指示する。						
参考書		随時指示する。						
成績評価の方法および基準		口頭試問80%、レポート20%						
その他履修上の注意事項		試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。 カリキュラムマップのDP2が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。						